

長井市公共施設等総合管理・整備計画（令和8年2月改訂） 概要版

公共施設等総合管理計画・整備計画について

【計画の位置づけ】

本計画は、国のインフラ老朽化対策である「インフラ長寿命化基本計画」の行動計画として本市が作成する計画です。

また、本計画は「長井市第六次総合計画」（令和6年3月策定）の下位計画として位置付けます。

【計画期間】

計画期間を令和8年度から令和17年度までの10年間とします。

【背景と目的】

本市が令和6年3月に策定した「長井市第六次総合計画」では、将来像を「みんながしあわせに暮らせる長井」と定め、社会基盤分野においては「効率的で持続可能な施設整備を目指し、予防保全型の修繕や中長期的な維持管理によりコスト削減と財政負担の平準化を図る」ことを掲げています。

人口が減少する一方で、高度経済成長期に整備された公共施設やインフラは老朽化が進んでいます。限られた財源のもとで優先順位を明確にし、計画的に改修や更新を行うことが求められる中、本市では、平成28年11月に「長井市公共施設等整備計画」を策定し、着実に施設の維持管理及び整備を進めてきました。

このような経過を踏まえ、将来世代に過大な負担を残すことなく持続可能な市民サービスを提供していくため、公共施設の総量を適正化するとともに、総合的かつ計画的に整備・管理し、有効に活用していくことを目的として計画を改訂するものです。

施設の現状と課題に関する基本認識（p.6～）

●長井市所有の施設

【公共建築物】

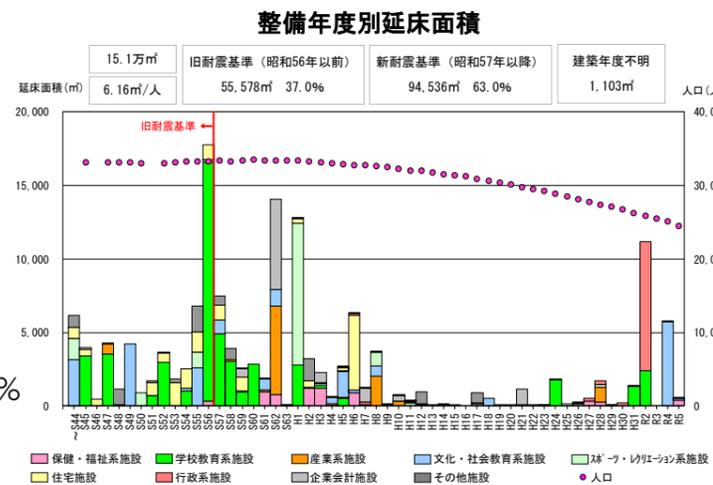
- 施設数：293施設
- 総床面積：151,216㎡

【インフラ施設等】

- 市道：500.78km
(橋りょう 290橋)
- 公園：39.75ha
- 上下水道管：442.4km

●主な課題

- 築30年以上の建物が70.9%
- 旧耐震基準の建物は37.0%
- 耐震改修未実施は7.0%

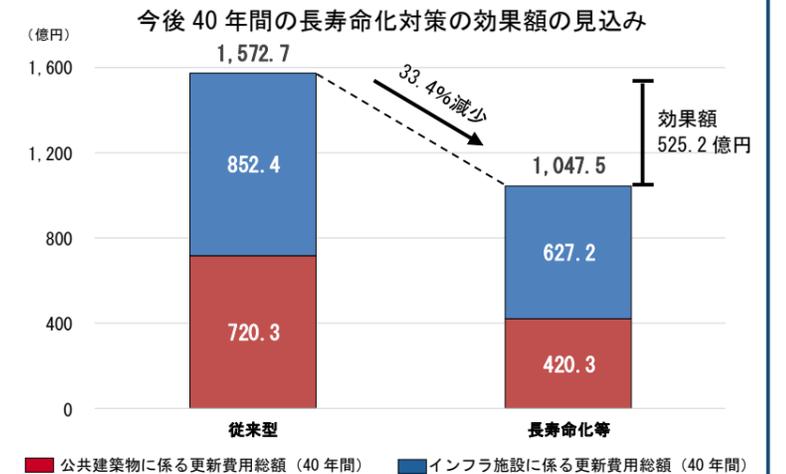


公共施設等の更新費用の将来見通し（p.22～）

総務省が公開した、「公共施設等更新費用試算ソフト」を活用し、従来通りの事後保全型管理をした場合における更新費用を推計した結果、公共建築物については、現在の施設を現在と同様の規模で大規模改修や建替えを行いながら維持し続けた場合の総額は今後40年間で720.3億円(年平均額18.0億円)となりました。

同様にインフラ施設(道路・橋りょう・上水道・下水道(污水管))について試算したところ、今後40年間の費用は852.4億円(年平均額21.3億円)となりました。

一方、本市で策定済みの公共施設等に関する長寿命化計画(分野別個別施設計画)に則り、長寿命化等を行った場合の削減見込みは、公共建築物で1年度当たり7.50億円、インフラ施設で5.63億円となり、合計で13.13億円/年度のコスト削減が見込まれ、今後40年間換算では525.2億円の効果額が見込まれる計算となります。



公共施設等の管理に関する基本的な考え方（p.33～）【抜粋】

◆点検・診断の実施方針

施設の安全性の点検や診断など施設管理者による日常的な点検を実施します。また、点検結果を基に、必要に応じて専門業者等による詳細診断などを実施し、適切な管理に努めます。

◆維持管理・更新の実施方針

計画的な予防保全型としての修繕を行うこととし、経常的な修繕と計画修繕を実施します。施設の修繕や改修、新設などにあたっては、ライフサイクルコストに配慮した計画、設計・工法を導入し、適切な耐久性の確保に努めます。

◆安全確保の実施方針

点検・診断等で危険性が認められた施設については、使用制限等を行い、緊急修繕・更新等や解体撤去など適切な措置を速やかに実施していきます。

◆長寿命化の実施方針

各種個別施設計画に基づく「長寿命化」への転換を図ります。また、損傷が軽微な段階からの予防的な修繕等で、機能や性能の保持・回復を図る「予防保全」に努めます。

◆ユニバーサルデザイン化の推進方針

全ての人にとって暮らしやすいインクルーシブなまちづくりを目指し、施設の改修及び更新等にあっては、ユニバーサルデザイン化を進めます。

◆統合や廃止の推進方針

既存施設の多目的化や複合化を検討し、新規整備が必要となる場合は施設総量の削減を図りながら応えていくように努めます。あわせて、市の施設としての必要性等を検討し、移譲や廃止などにより施設総量の削減を図ります。

◆数値目標

今後10年間の施設保有量の削減目標を1,270㎡と設定します。

施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（p.39～）【抜粋】

【保健・福祉系施設】

- 児童センター、学童クラブは必要な改修を行い、少子化や地域生活拠点を踏まえた規模・配置の検討を進めます。

【学校教育系施設】

- 学校施設は災害時の避難所でもあり、予防保全で長寿命化を図ります。伊佐沢小は老朽化対策改修を実施し、長井小は地域生活拠点の可能性を検討します。

【文化・社会教育系施設】

- コミュニティセンターは、関係施設と連携し、地域生活拠点を踏まえた複合化の可能性を検討します。
- 文教の杜ながいは、予防保全改修で長寿命化を図り、重要度や老朽化度に応じて修繕を実施します。
- 向山荘は今後の施設の方向性を伊佐沢地区や関係者と検討します。

【スポーツ・レクリエーション系施設】

- 置賜生涯学習プラザは「長井市公園施設長寿命化計画」に基づき、大規模改修を実施して長寿命化を図ります。
- 築50年以上で老朽化が進み耐震性が確保されていない武道館、西根・平野体育館は、利用形態を考慮し他施設との共用や廃止を検討します。

【住宅施設】

- 住宅の状況に応じた改善事業の必要性・効果を考慮しながら、計画的な施設の長寿命化を図ります。
- 政策空家対象団地については、円滑な用途廃止を図ります。

【企業会計施設(上下水道施設)】

- 上水道の主要施設は耐震化計画に基づき耐震化を進めます。また、近隣自治体との事業広域化について山形県の支援のもと協議を進めます。
- 公共下水道管理センターは「長井市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、投資効果を考慮した更新・維持管理を行います。農業集落排水施設は維持管理の効率化、適正化に向けた対策を総合的に検討し、維持管理費の削減と効率化を進めます。

【その他の施設】

- 旧市立図書館は、解体や土地活用を含めた再整備を検討します。

【インフラ施設】

- 道路・河川については、法定点検や診断を計画的に実施し、適切な維持管理に努めます。
- 公園施設は、直営や委託による管理に加え、住民協働により、今後も維持していきます。
- 特に昭和後期に建設されたスポーツ施設は、老朽化しているため、統廃合を検討していきます。

整備計画 (p.67~)

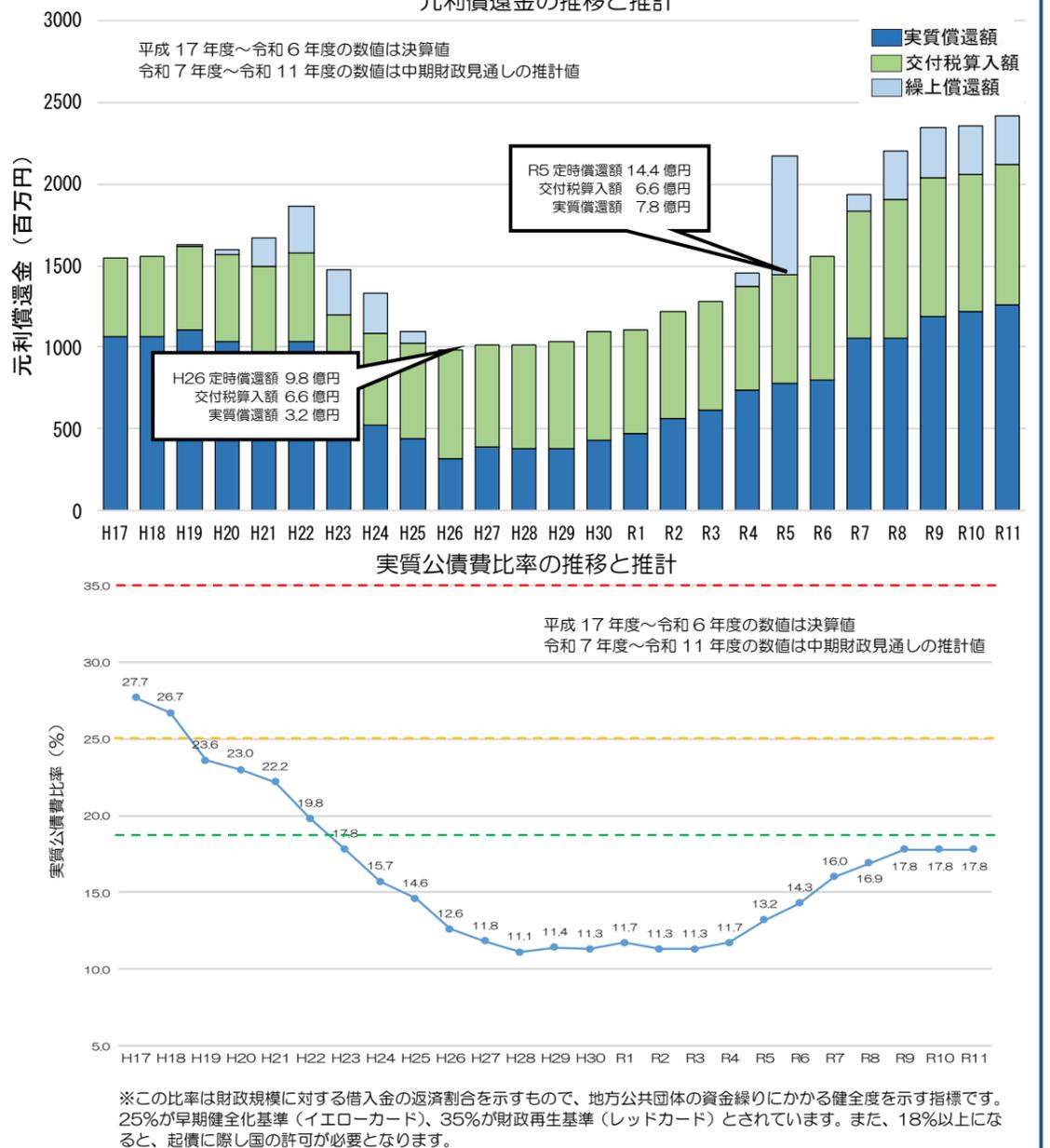
【整備スケジュール】

| | 前期5年 (令和8年度~令和12年度) | 後期5年 (令和13年度~令和17年度) |
|-----------------------|------------------------|-------------------------|
| 1. 既存施設 | ●整備対象施設〔対応方法〕 | |
| | 置賜生涯学習プラザ〔大規模改修〕 | |
| | 市営住宅〔長寿命化〕 | 定住促進住宅〔改修〕 |
| | 小中学校〔LED化〕 | |
| 2. 新規施設 | ●整備対象施設〔対応方法〕 | |
| | バイオガス発電施設〔新築〕 | |
| 3. インフラ等施設 (長寿命化分) | ●整備対象施設 | |
| | 道路・トンネル | |
| | 橋りょう | |
| 4. インフラ等施設 | ●整備対象施設 | |
| | 公園施設 | |

【概算事業費の推計】

| | 前期5年 (令和8年度~令和12年度) | 後期5年 (令和13年度~令和17年度) | 全期合計 |
|--|---|--|---|
| 1. 既存施設 (改築) (大規模改修) (前歳改修) (長寿命化) | ●事業費 15億7,429万円 財源内訳 ・国県支出金 6億2,491万円 ・地方債 9億 988万円 ・その他特財 0万円 ・一般財源 3,951万円 | ●概算事業費 32億4,869万円 財源内訳 ・国県支出金 11億7,131万円 ・地方債 20億 680万円 ・その他特財 0万円 ・一般財源 7,058万円 | 概算事業費 80億 576万円 【財源内訳】 ・国県支出金 28億2,474万円 ・地方債 49億5,182万円 ・その他特財 0万円 ・一般財源 2億2,921万円 |
| 2. 新規施設 | ●事業費 3億5,659万円 財源内訳 ・国県支出金 1億8,899万円 ・地方債 1億6,150万円 ・その他特財 0万円 ・一般財源 610万円 | ●概算事業費 0万円 財源内訳 ・国県支出金 0万円 ・地方債 0万円 ・その他特財 0万円 ・一般財源 0万円 | |
| 3. インフラ等施設 (長寿命化分) | ●事業費 7億9,470万円 財源内訳 ・国県支出金 1億5,076万円 ・地方債 6億2,749万円 ・その他特財 0万円 ・一般財源 1,646万円 | ●概算事業費 6億5,900万円 財源内訳 ・国県支出金 1億7,019万円 ・地方債 4億7,375万円 ・その他特財 0万円 ・一般財源 1,507万円 | |
| 4. インフラ等施設 | ●事業費 13億4,750万円 財源内訳 ・国県支出金 5億1,860万円 ・地方債 7億4,990万円 ・その他特財 0万円 ・一般財源 7,901万円 | ●概算事業費 2,500万円 財源内訳 ・国県支出金 0万円 ・地方債 2,250万円 ・その他特財 0万円 ・一般財源 250万円 | |
| 合計 | ●事業費 40億7,308万円 財源内訳 ・国県支出金 14億8,324万円 ・地方債 24億4,877万円 ・その他特財 0万円 ・一般財源 1億4,107万円 | ●概算事業費 39億3,269万円 財源内訳 ・国県支出金 13億4,150万円 ・地方債 25億 305万円 ・その他特財 0万円 ・一般財源 8,814万円 | |

【将来負担の推移と推計】



【公共建築物】

■ 置賜生涯学習プラザ

防災拠点の機能を併せ持つ施設として大規模改修を実施。

■ 市営住宅・定住促進住宅

市営住宅は長寿命化改修を進めつつ、定住促進住宅は改修(リノベーション)を実施。

■ 学校教育施設

令和8年度に長井小第3校舎トイレを改修。伊佐沢小を後期に長寿命化改修を実施し、全校でLED化を推進。

■ 児童センター

改修を図りながら、地域生活拠点として小学校やコミュニティセンターとの合築や機能統合も検討。

■ 文教の杜ながい

旧丸大扇屋・小桜館は、文教の杜全体の令和10年度リニューアルオープンに向け令和8~9年度において改修を実施。

■ コミュニティセンター

平野コミュニティセンター、豊田コミュニティセンターは改修を実施し、中央コミュニティセンターは前期5年で地域生活拠点としての方向性を検討し、後期5年で建て替えを推進。

■ 旧市立図書館

財源確保を検討した上で、後期5年で解体を実施。

■ 産業振興交流拠点施設(タス)

財源確保を検討した上で、1階の一部と6階部分を後期5年で改修。

■ バイオガス発電施設

再エネ推進交付金を活用し、バイオガス発電施設を整備。

【インフラ施設】

■ 道路・トンネル

「長井市道路トンネル長寿命化修繕計画」に基づき長寿命化を推進。

■ 橋りょう

「長井市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき長寿命化を推進。

■ 河川

国の緊急自然災害防止対策事業債、緊急浚渫推進事業債等を活用し整備。

■ 公園施設

高野町地内工場跡地の公園化や、長井市観光交流センター川のみなと長井東側、最上川左岸高水敷の整備を推進。その他は「長井市公園施設長寿命化計画」に基づき長寿命化を推進。